

2012年度仕事一覧

吉川左紀子

論文

船曳康子, 廣瀬公人, 川岸久也, 大下颯, 田村綾菜, 福島美和, 小川詩乃, 伊藤祐康, 吉川左紀子, 村井俊哉「発達障害者の特性理解用リーダーチャート (MSPA) の作成, 及び信頼性の検討」『児童青年精神医学とその近接領域』2012, 54 (1), 14-26.

大藪博記, 渡部幹, 吉川左紀子「言語・表情シグナルに対する罰行使行動の検討」『社会心理学研究』2012, 28 (2), 77-86.

Sato, W. and Yoshikawa, S., "Recognition Memory for Faces and Scenes," *The Journal of General Psychology*, 2012, 140 (1), 1-15.

Ozono, H., Watabe, M., & Yoshikawa, S., "Effects of facial expression and gaze direction on approach-avoidance behavior," *Cognition and Emotion*, 2012, 26 (5), 943-949.

学会発表, ワークショップ等

布井雅人, 吉川左紀子「選好形成に他者が及ぼす影響——視線・表情・魅力度に関する検討」日本認知心理学会第10回大会(岡山大学, 岡山市) 2012.6.2.

小川時洋, 布井雅人, 吉川左紀子「視線手がかりによる顔への印象形成過程の検討」日本認知心理学会第10回大会(同上).

中嶋智史, 森本裕子, 吉川左紀子「未知顔の記憶における表情と人種の相互作用効果」日本認知心理学会第10回大会(同上).

嶺本和沙, 吉川左紀子「表情の順応効果に及ぼす表出強度の影響」日本認知心理学会第10回大会(岡山大学, 岡山市) 2012.6.3.

野口素子, 吉川左紀子「表情表出による情動調整が会話に対する印象に及ぼす影響」日本心理学会第76回大会(専修大学, 川崎市) 2012.9.12.

布井雅人, 中嶋智史, 吉川左紀子「表情認知における社会的排斥の効果——排斥されると悲しみが嫌になる」日本心理学会第76回大会(専修大学, 川崎市) 2012.9.13.

小川詩乃, 井田美沙子, 田村綾菜, 伊藤祐康, 吉川左紀子「広汎性発達障害児における物語理解の困難をもたらす要因の検討」第53回日本児童青年精神医学会総会(シェーンバハ・サボア [砂防会館], 東京都) 2012.11.1.

Nakashima, S. F., Morimoto, Y., & Yoshikawa, S. "Interactive effects of darkness and anxiety on memory for unfamiliar faces." 10th Tsukuba International Conference on Memory, Tokyo, Japan. 2012.3.5.

Ueda, Y., and Yoshikawa, S. "Task-Irrelevant Happy Faces Facilitate Visual Search Performance." *Vision Sciences Society 12th Annual Meeting*, Naples, Florida. 2012.5.11.

Yonemura, K., Morisaki, A., Ariga, A., Watanabe, K., & Yoshikawa, S. "Interaction between viewing angle and presentation height in perception of Buddha statues." *International Conference on Kansei Engineering and Emotion Research*. Penghu, Taiwan. 2012.5.25.

Yoshikawa, S., & Ueda, Y. "Smile Wins : Perceived Dominance of Facial Expression in Face-to-Face Confrontation Scene." *Association for psychological science 24th Annual Convention*. Illinois, Chicago. 2012.5.25.

Nunoi, M., Ishida, A., Ueda, Y., & Yoshikawa, S. "Face-to-face situation enhances positive facial expression rather than videophone situation." *Association for psychological science 24th Annual Convention*. Illinois, Chicago. 2012.5.26.

Yoshikawa, S., & Ueda, Y. "Perceived Dominance of Facial Expression in Face-to-Face Scenes." 43rd NIPS International Symposium "Face Perception and Recognition." Okazaki, Japan. 2012.11.1.

Ueda, Y., and Yoshikawa, S. "Task-Irrelevant Happy Faces Facilitate Visual

Search Performance." 43rd NIPS International Symposium "Face Perception and Recognition." Okazaki, Japan. 2012.11.1.

講演

吉川左紀子「心理学から考える『ブータンの幸福』」ゴールデン・エイジ・アカデミー(京都アスニー, 京都市) 2012.8.3.

吉川左紀子「共感の認知科学」大阪京大クラブ(大阪中央電気倶楽部, 大阪市) 2012.9.10.

吉川左紀子「科学技術:心・文化の視点から価値を見直す」科学技術・学術審議会基本計画推進委員会(第7回)(文部科学省, 東京都) 2012.11.30.

吉川左紀子「感情理解と共感的コミュニケーション」第30回日本感覚統合学会研究大会(京都テルサ, 京都市) 2012.12.9.

吉川左紀子「無意味なものに意味がある:沈黙, 同調とコミュニケーション」第9回クオリアAGORA(京都高度技術研究所, 京都市) 2013.1.31.

吉川左紀子「科学技術と心」富士通総合研究所研究会(富士通研究所, 川崎市) 2013.3.25.

船橋新太郎

論文

Watanabe, Y. & Funahashi, S., "Thalamic mediodorsal nucleus and working memory." *Neuroscience and Biobehavioral Reviews*, 2012, 36, 134-142.

Tanaka, A. & Funahashi, S., "Macaque monkeys exhibit behavioral signs of metamemory in an oculomotor working memory task." *Behavioural Brain Research*, 2012, 233, 256-270.

小田桐匡, 上田啓太, 村井俊哉, 大東祥孝, 船橋新太郎「系列物品使用障害のメカニズムの探求——注視行動分析による検討から」『神経心理学』2012, 28, 49-65.

竹田里江, 竹田和良, 石合純夫, 池田望, 松山清治, 船橋新太郎「認知症患者に対するコンピュータを用いた認知機能向上訓練の効果——前頭連合野機能を基盤とし個人の能力・興味にテーラーメイド可能な訓練の開発と試行から」『作業療法』2012, 31, 452-462.

竹田里江, 竹田和良, 池田望, 松山清治, 船橋新太郎「作業が持つ意味を前頭連合野における認知と情動の相互作用から考える——神経科学的知見に基づいたこれからの作業療法に向けて」『作業療法』2012, 31, 528-539.

Funahashi, S., "Space representation in the prefrontal cortex." *Progress in Neurobiology*. 2013, 130, 131-155.

Mochizuki, K. & Funahashi, S., "Response inhibition, prefrontal cortex, and their relation to the attention deficit/hyperactivity disorder." In: "Cognitive and Behavioral Phenotypes : New Trends for Research, Classification and diagnosis in Neuropsychology and Psychiatry," S. L. Santangelo and V. Jagarao (eds.), Springer (印刷中).

竹林美佳, 船橋新太郎「フラクタル図形に対するサルの好き嫌い」芋阪直行編『神経美学——美しさと喜びの脳内表現』新曜社(印刷中).

学会発表

望月圭, 船橋新太郎「眼球運動方向の自由選択における運動と選択の相反する履歴効果」平成24年度生理学研究所研究会「第6回 Motor Control 研究会」(自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター, 岡崎市) 2012.6.21-6.23.

田中暁生, 船橋新太郎「短期記憶におけるサル外側前頭前野の機能的役割に関する新知見」包括型脳科学研究推進支援ネットワーク・夏のワークショップ(仙台国際センター, 仙台市) 2012.7.26.

Nagaoka, C., Hiraoka, N., and Funahashi, S. "The effects of listener's familiarity with a talker's voice on the speech recognition in noisy condition." *COGSCI 2012 (The Annual Meeting of the Cognitive*

Science Society), (札幌市) 2012.8.1-8.4.

中本若奈, 船橋新太郎「サル」の視覚刺激に対する選好性は何で決まるか?」第35回日本神経科学大会(名古屋国際会議場, 名古屋市) 2012.9.19.

高橋裕美, 船橋新太郎「架空の報酬情報が選択行動に与える影響の検討」第35回日本神経科学大会(名古屋国際会議場, 名古屋市) 2012.9.18.

田中暁生, 船橋新太郎「サル前頭前野外側部へのムシモール注入による記憶とメタ記憶への影響」第35回日本神経科学大会(同上).

渡邊慶, 船橋新太郎「二重課題遂行中のサル前頭連合野神経活動」第35回日本神経科学大会(同上).

望月圭, 船橋新太郎「前頭連合野ニューロン活動のゆらぎが記憶誘導性眼球運動における選択に与える影響」第35回日本神経科学大会(同上).

Tanaka, A. and Funahashi, S. "Impaired memory and spared metamemory: effects of muscimol injections into the macaque dorsolateral prefrontal cortex." Annual Meeting of Society for Neuroscience (Neuroscience 2012), (New Orleans, USA) 2012.10.16.

Watanabe, K. and Funahashi, S. "Dual-tasking in monkeys: analyses of behavior and prefrontal neuron activities." Annual Meeting of Society for Neuroscience (Neuroscience 2012), (New Orleans, USA) 2012.10.16.

Takahashi, H. and Funahashi, S. "Behavioral study of fictive outcome in a monkey using a value-based binary choice task." Annual Meeting of Society for Neuroscience (Neuroscience 2012), (New Orleans, USA) 2012.10.17.

Watanabe, Y. and Funahashi, S. "Information transformation of thalamic mediodorsal neurons during spatial working memory performance." 41st Annual Meeting of the International Neuropsychological Society, (Waikola, Hawaii, USA) 2013.2.6-9.

渡辺由美子, 船橋新太郎「視床背内側核における眼球運動関連活動の課題依存的な変化」第90回日本生理学会大会(タワーホール船堀, 東京都) 2013.3.27-29.

講演

船橋新太郎「質感と好み——動物を用いた研究から」科学研究費補助金・新学術研究領域「質感脳情報学」第4回班会議・公開講演会(みやこめっせ, 京都市) 2012.5.29.

船橋新太郎「記憶再生における外側前頭前野の制御機能」第35回日本神経科学大会シンポジウム「サル前頭前野における認知機能研究の展開」(名古屋国際会議場, 名古屋市) 2012.9.18.

船橋新太郎(2012)「自分のところをモニターする仕組みを探る」「ニホンザル」バイオリソースプロジェクト公開シンポジウム「第3期のニホンザル・バイオリソースプロジェクト さらなる発展をめざして」, (UDXカンファレンス, 東京都) 2012.11.9.

Funahashi, S. "Prefrontal cortex and neural mechanism of executive function. 3rd International Symposium on Prefrontal Cortex." (京都大学稲盛財団記念館大会議室, 京都市) 2012.11.29-30.

船橋新太郎「視空間性ワーキングメモリ遂行における前頭連合野——視床背内側核の役割」平成24年度生理学研究所研究会「大脳皮質の作動原理究明をめざして」(自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター, 岡崎市) 2012.12.6-7.

船橋新太郎「ものの好みはなにで決まる?」京都大学こころの未来研究センター研究報告会2012(京都大学稲盛財団記念館中会議室, 京都市) 2012.12.15.

カール・ベッカー

論文

カール・ベッカー「祈りの研究」『Mind-Body Science』2012.4, 22号, 16-20.

カール・ベッカー「死と向き合った時にあらわになる日本人の基礎的宗教観」『緩和ケア』22巻3号, 2012.5, 207-211.

子安増生編, カール・ベッカー他共著「幸福感の国際比較研究」『Japanese Psychological Review』(心理学評論刊行会)55巻1号, 2012, 70-89.

カール・ベッカー「NDE(臨死体験)研究——科学か偽科学か?」中部大学編, 『ARENA 2012 アリーナ』14号, 風媒社, 2012.12, 370-375.

著書

カール・ベッカー「人間社会を持続可能にさせる倫理の役割」稲盛和夫編『如何確定21世紀新倫理現』(中国語訳), 海南出版社, 2012, 97-126, 127-154頁.

Becker, C. "Challenges of Caring for the Aging and Dying." Buddhist Care for the Dying and Bereaved, Jonathan Watts & Yoshiharu Tomatsu, Eds. Somerville, MA: Wisdom Press, 2012.12, 19-36.

カール・ベッカー「日本人の魂はどこへ行くのか」『看取り先生の遺言』奥野修司著編, 文藝春秋, 2013.1, 282-299頁.

新聞・雑誌記事等

カール・ベッカー「負の感情と倫理・生きがい感」『こころの未来』2012.3, 30, 41頁.

カール・ベッカー, NHK「日本人の生と死を考える」NHK教育+ラジオ, 4月29日放送.

カール・ベッカー「お盆は大切な絆造りの行事」『佛教タイムズ』2012年お盆号, 1面.

カール・ベッカー「死別悲嘆に対する日本人の経験智」『日本スピリチュアルケア学会ニューズレター』2012.9, 7号, 9-15頁.

カール・ベッカー「『ビハラの現状とこれから』に関するコメント」『仏教看護・ビハラ』2012.11, 7号, 71-76頁.

カール・ベッカー「日本人の死生観と超越」『仏教文化講演会記録』龍谷大学仏教文化研究所紀要, 2012.12, 50号, 98-122頁.

カール・ベッカー「死の床の医師と宗教学者〜感動の対話」奥野修司編, 『文藝春秋』, 2012.12, 348-357頁.

基調講演

カール・ベッカー「佛教の世界観」人体科学会(京都アスニー, 京都市) 2012.6.2.

カール・ベッカー「婦人会の役割」浄土宗寺庭婦人会(リーガロイヤル, 京都市) 2012.6.11.

カール・ベッカー「人権を考える」亀岡市人権フォーラム(亀岡市公民館, 亀岡市) 2012.6.14.

カール・ベッカー「人生を振り返る」いのち教育会(上越教育大学, 新潟県) 12.7.12.

カール・ベッカー「世界観が『燃え尽き』に与える影響」人体科学会第23回公開講演会(京都大学稲盛財団記念館, 京都市) 2012.7.29.

カール・ベッカー「iPS倫理の東西」iPSのELSI(延世大学校, ソウル) 2012.8.8.

カール・ベッカー「人権を考える」京田辺市人権フォーラム(京田辺市役所, 京田辺市) 2012.8.30.

カール・ベッカー「日本人のスピリチュアリティ」スピリチュアルケア学会(龍谷大学, 京都市) 2012.9.29.

カール・ベッカー「お寺の役割」浄土宗集会(新潟県) 2012.10.3.

カール・ベッカー「お寺の役割」浄土宗集会(下関文化ホール, 下関市) 2012.10.26.

カール・ベッカー「現代日本人の死生観『いきがいの創造』」社会福祉法人秀峰会(保土ヶ谷ホール, 横浜市) 2012.11.5.

カール・ベッカー「患者の権利と希望」薬師山病院（京都教育文化センター, 京都市）2012.11.24.

カール・ベッカー「日本人の死生観——尊厳を持って生を全うする日本的智恵と教訓に学ぶ」朝日カルチャーセンター（朝日カルチャー, 大阪市）2012.12.4.

カール・ベッカー「日本仏教の役割と可能性を考える」仏教心理学会（龍谷大学, 京都市）2012.12.8.

カール・ベッカー「幸福をどう探せるか——日本人の知恵から」深谷高校卒業講演（埼玉県深谷高校, 深谷市）2012.12.22.

カール・ベッカー「日本的な看取り——その準備, 受容, 意味」県民公開講座（静岡県在宅医療推進センター, 静岡市）2013.1.19.

カール・ベッカー「グローバルな世界に生きる」石門史学協会（コオピン京都, 京都市）2013.1.22.

カール・ベッカー「『医療倫理』——患者や家族のストレス軽減」京都府鍼灸師会（芝蘭会館, 京都市）2013.2.24.

研修会

カール・ベッカー「医師看護師コミュニケーション」SOC看護の会（京都大学/CP京都）2012.5.8.

カール・ベッカー「お寺の役割」僧侶の会, 真言宗御室派, 2012.5.22.

カール・ベッカー「ストレス軽減法」わくわくワークショップ（稲盛記念館ホール, 京都市）2012.5.23.

カール・ベッカー「iPSの倫理」位田倫理の会（同志社大学, 京都市）2012.6.29.

カール・ベッカー「医師看護師コミュニケーション」SOC看護の会（京都大学/CP京都, 京都市）2012.7.10.

カール・ベッカー「燃え尽き予防」医師の月例会（新潟がんセンター, 新潟市）2012.7.13.

カール・ベッカー「スピリチュアルケア」SCワーカー養成（太融寺, 大阪市）2012.7.20.

カール・ベッカー「ストレス軽減法」わくわくワークショップ（稲盛記念館ホール, 京都市）2012.7.25.

カール・ベッカー「医療の優先順位」ランチセミナー（ミシガン大学医学部, 米ミシガン）2012.8.22.

カール・ベッカー「老いを考える」老いを考える研究会（国際高等研究所, 木津川市）2012.8.31.

カール・ベッカー「A Buddhist Perspective on Ethical Practices in Medicine」比較哲学会（南イリノイ大学, 米ミシガン）2012.10.19.

カール・ベッカー「看護倫理」看護師研修会（武田病院, 京都市）2012.12.7.

カール・ベッカー「看護倫理」看護師研修会（京都看護協会, 京都市）2012.12.21.

カール・ベッカー「メンタルヘルス対策の充実とその課題解決にむけて」教師研修会（京都府立朱雀高校, 京都市）2013.1.18.

カール・ベッカー「老と死を考える」老と死を考える研究会（国際高等研究所, 木津川市）2013.2.3.

カール・ベッカー「生命倫理の近未来のABC」CBEL生命倫理研究会（東京大学, 東京都）2013.2.11.

カール・ベッカー「『医療倫理』——患者や家族のストレス軽減」看護師研修会（滋賀県立大学, 彦根市）2013.3.5.

座長・司会

カール・ベッカー「山中伸也紹介」“Life: Its Nature, Value and Meaning”国際会議（上廣倫理財団, 東京都）2012.5.17.

カール・ベッカー「精神医学誌学会」精神医学誌学会（稲盛記念館ホール, 京都市）2012.10.27.

河合俊雄

論文

Kawai, T. “The Red Book from a pre-modern perspective: the position of the ego, sacrifice and the dead.” *Journal of Analytical Psychology*, 2012, 57, 378–389.

河合俊雄「甲状腺疾患における『感情のなさ』について」『こころの未来』vol.8, 2012, 9, 50.

河合俊雄「心理療法と幸福」『心理学評論』2012, vol.55(1) 195-202.

Kawai, T. (in printing) *The 2011 Earthquake in Japan: End of the old and birth of the new story*, Spring.

著書

河合俊雄編著『ユング派心理療法』ミネルヴァ書房, 2013年.

ギーゲリッヒ, 河合俊雄『ギーゲリッヒ夢セミナー』創元社, 2013年.

河合俊雄, 内田由紀子編『「ひきこもり」考』創元社, 2013年.

学会発表

Kawai, T. “Internal Reading of the ‘Legends of Tono’ (1910): Emergence of Consciousness and Border.” *The International Society for Psychology as the Discipline of Interiority* (Berlin, Germany) 2012.7.23-25.

田中美香, 金山由実, 河合俊雄, 桑原晴子「バセドウ病患者のカウンセリング過程にみられる特徴について——甲状腺専門病院での調査から」日本心理臨床学会第31回秋期大会（愛知学院大学, 日進市）2012.9.14.

田中崇恵, 小木曾由佳, 加藤のぞみ, 井芹聖文, 土井奈緒美, 河合俊雄, 田中康裕, 黒川嘉子, 高嶋雄介, 畑中千紘, 長谷川千紘「発達障害へのプレイセラピーによるアプローチ（1）新版K式発達検査を用いた検討」日本箱庭療法学会第26回大会（米子コンベンションセンター, 米子市）2012.10.28.

河合俊雄, 黒川嘉子, 田中崇恵, 小木曾由佳, 加藤のぞみ, 井芹聖文, 土井奈緒美, 田中康裕, 高嶋雄介, 畑中千紘, 長谷川千紘「発達障害へのプレイセラピーによるアプローチ（2）治療プロセスからの検討」日本箱庭療法学会第26回大会（同上）

田中美香, 金山由実, 河合俊雄, 桑原晴, 窪田純久, 宮内昭「甲状腺専門病院でカウンセリングを依頼されるバセドウ病患者の特徴について——TRAb値の変化とカウンセリング内容から」日本甲状腺学会（アクロス福岡, 福岡市）2012.11.29.

講演

河合俊雄「震災のケアから見えてきた人の心と制度」財務省新人基礎研修（東京都）2012.4.23.

河合俊雄「村上春樹でこころを科学する」京都大学公開講座春秋講義（京都大学, 京都市）2012.5.23.

Kawai, T. “Big story and small stories in the psychological relief work after the earthquake disaster: life and death.”（全体講演）3rd International Joint Conference of the IAJS and the IAAP (Braga, Portugal) 2012.7.18-21.

河合俊雄「震災後のこころのケア」石巻地区養護教諭部会研修会（石巻市）2012.8.22.

河合俊雄「震災のこころのケアと視点：大きな物語と小さな物語」日本箱庭療法学会日本ユング派分析家協会合同震災対策ワーキンググループ福島研修会（福島市）2012.10.8.

河合俊雄「家族関係の希薄化と密着化」親と子のこころの電話研修会, 2013.1.23.

シンポジウム

河合俊雄「自然の精神分析——傷つきと再生」（シンポジスト）日本語臨床フォーラム（花園大学, 京都市）2012.6.24.

河合俊雄「物語と鎮魂」（シンポジスト）日本箱庭療法学会第26回

大会一般公開シンポジウム(米子コンベンションセンター, 米子市)
2012.10.27.

新聞掲載、書評

河合俊雄「顔」(河合隼雄賞創設インタビュー) 読売新聞2012年7月28日.

河合俊雄(書評) Carl Gustav Jung “Visions: Notes of the seminar given in 1930-1934”『臨床心理学』2012, 12(4), 610-613.

河合俊雄(書評)「小澤征爾さんと、音楽について話をする」『こころの科学』2012, vol.164, 127.

河合俊雄(巻頭言)「震災のこころのケアからみた心理療法・箱庭療法」『箱庭療法学研究』2012, 25(2), 1-2.

河合俊雄「対話のカタチ1: グローバル化のなかで」京都新聞2013年1月3日.

鎌田東二

論文

鎌田東二「霊性の京都学」31-43, 『月刊京都』2012年4月号~2013年3月号, 白川書院.

鎌田東二「神々から読み解く『古事記』前編」『歴史街道』2012年6月号, PHP研究所, 77-93.

鎌田東二「東北の怪異」『怪』2012年8月号, 角川書店, 183-189.

鎌田東二「神話と歌に見る言霊思想」『持続千年首都・平安京の生態智』『第30回比較文明学会・第8回地球システム・倫理学会学術合同大会予稿集』7-12, 比較文明学会+地球システム・倫理学会, 2012年11月.

鎌田東二「身心変容技法の起源とその展開に関する試論」『身心変容技法研究』第2号, 2013, 京都大学こころの未来研究センター, 3-19.

鎌田東二「こころの練り方探究事始めその三~南方熊楠の『心理学』を中心に」, 『モノ学・感覚価値研究』第7号, 2013, 京都大学こころの未来研究センター, 2-12.

鎌田東二「民俗芸能・芸術・聖地文化と再生」稲場圭信・黒崎浩行編『震災復興と宗教』第12章, 明石書店, 2013, 245-269.

鎌田東二「1910年と南方熊楠と生態智」『「エコ・フィロソフィ」研究』第7号「別冊シンポジウム・研究会編」東洋大学, 2013, 3-20.

著書

鎌田東二監修『「日本神話」の謎を楽しむ本』PHP研究所, 2012年.

鎌田東二監修『こんなに面白い日本の神話——日本人として知っておきたい国の始まりと神々のドラマ』(知的生きかた文庫), 三笠書房, 2012年.

鎌田東二『古事記ワンダーランド』角川選書, 角川学芸出版, 2012年.

井上ウィマラ, 藤田一照, 西川隆範, 鎌田東二『仏教は世界を救うか』地湧社, 2012年.

招待講演

鎌田東二「柳宗悦とその時代——宗教と科学と芸術の絡みから」第4回柳宗悦研究会(京都大学こころの未来研究センター, 京都市) 2012.7.26.

鎌田東二「人体科学と身心変容技法」人体科学学会第37回公開講演会(京都大学こころの未来研究センター, 京都市) 2012.7.29.

鎌田東二「神と自然」(提題)日本ホワイトヘッド・プロセス学会第34回全国大会シンポジウム(京都キャンパスプラザ, 京都市) 2012.9.8.

鎌田東二「古事記からみた日向」(基調講演)古事記編纂1300年記念事業「イワクラサミットIN日向」(日向市文化交流センター, 日向市) 2012.9.15.

鎌田東二「生と死をめぐる日本の神話的深層と現代」(基調講演)

日本人間性心理学会第31回大会(宇部フロンティア大学, 宇部市) 2012.9.23.

鎌田東二「アジア共同体の構築に向けた宗教の役割——日本の宗教文化の視点から」嘉泉大学校(大韓民国) 2012.9.27.

鎌田東二「古事記における登場人物の逸話と彼らの性格特性——負の感情の制御者としてのスサノヲの力とワザ」(講演)日本パーソナリティ心理学会第21回大会(島根大学, 松江市) 2012.10.6.

鎌田東二「神話と歌に見る言霊思想」(提題)第8回地球システム・倫理学会大会(京都大学こころの未来研究センター, 京都市) 2012.11.16.

鎌田東二「持続千年首都・平安京の生態智」(講演)第30回比較文明学会大会(京都大学こころの未来研究センター, 京都市) 2012.11.17.

鎌田東二「古典と伝統知」(コメンテーター)第8回地球システム・倫理学会大会(京都大学こころの未来研究センター, 京都市) 2012.11.18.

鎌田東二「古事記と宇宙」(基調講演)京都大学・大和郡山市主催, 京都大学宇宙総合学術ユニット協力シンポジウム(大和郡山城大ホール, 大和郡山市) 2012.11.23.

鎌田東二「遠藤周作と宮澤賢治の宗教性をめぐって——『深い河』と『銀河鉄道の夜』を中心に」日本キリスト教文学会関西支部冬季大会招待講演シンポジウム(関西学院大学, 西宮市) 2013.1.26.

鎌田東二「癒し空間の総合的研究」京都大学地域研究統合情報センター研究発表会(京都大学地域研究統合情報センター, 京都市) 2013.1.27.

鎌田東二「海・山のあいだ再考——防災拠点としての寺社と信仰」(特別講演)和歌山県新宮市教育委員会主催「熊野学サミット」2013.2.23.

鎌田東二「1910年と南方熊楠と生態智」(基調講演)東洋大学「井上円了×南方熊楠」シンポジウム(東洋大学, 東京都) 2013.2.24.

鎌田東二「日本の聖地文化」『日本の聖地——相模国一宮寒川神社と延喜式内社研究』(京都大学こころの未来研究センター, 京都市) 2013.2.27.

鎌田東二「『古事記』のキャラクターと物語によるコスモロジー創り」(報告)『京都伝統文化の森推進協議会第6回公開セミナー「森と人, 森と街をつなぐ京都のキャラクター」』(京都大学こころの未来研究センター, 京都市) 2013.2.28.

鎌田東二「アジア共同体の構築に向けた宗教の役割——日本の宗教文化の視点から」東国大学校講演(大韓民国) 2013.3.26.

新聞掲載、書評

鎌田東二「日経新聞インタビュー」日本経済新聞2012年4月7日・4月28日夕刊.

鎌田東二「今, 見直すべき伝承知」インタビュー, 毎日新聞2012年6月26日朝刊「心のページ」.

鎌田東二「浅見克彦著『響きあう異界』(せりか書房)」週刊読書人2012年6月29日.

鎌田東二「心解き 若者修行体験」記事にコメント, 読売新聞2012年8月21日朝刊.

鎌田東二「星野紘著『過疎地の伝統芸能の再生を願って』(国書刊行会)」日本経済新聞2012年8月26日.

鎌田東二「古事記1300年」朝日新聞2012年9月23日朝刊書評欄「ニュースの窓」.

鎌田東二「復興元年と祭り」徳島新聞2013年2月1日朝刊.

ラジオ出演

京都FM, α ステーション「Sunnyside Balcony Kyoto University Academic Talk 聖地文化とこころのつながり」2013年3月6日15時20分-40分.

内田由紀子

論文

- Norasakkunkit, V., Uchida, Y., & Toivonen, T., "Caught between culture, society, and globalization: Youth marginalization in postindustrial Japan," *Social and Personality Psychology Compass*, 2012, 6 /5, 361-378.
- Norasakkunkit, V., Kitayama, S., & Uchida Y., "Social anxiety and holistic cognition: Self-focused social anxiety in the United States and Other-focused social anxiety in Japan," *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 2012, 43, 742-757.
- 内田由紀子, 荻原祐二「文化的幸福観：文化心理学的知見と将来への展望」『心理学評論』2012, 55, 26-42.
- 子安増生他「幸福観の国際比較研究——13カ国のデータ」『心理学評論』2012, 55, 70-89.
- 内田由紀子「日本文化における幸福と将来展望」『連合総研レポートDIO』2012, 274, 8-11.
- 内田由紀子, 遠藤由美, 柴内康文「人間関係のスタイルと幸福観：つきあいの数と質からの検討」『実験社会心理学研究』2012, 52, 63-75.
- Uchida, Y., & Ogihara, Y., "Personal or interpersonal construal of happiness: A cultural psychological perspective," *International Journal of Wellbeing*, 2012, 2 (4), 354-369.
- Oishi, S., Kesebir, S., Miao, F. F., Talhelm, T., Endo, Y., Uchida, Y., Shibana, Y., & Norasakkunkit, V., "Residential mobility increases motivation to expand social network: But why?" *Journal of Experimental Social Psychology*, 2013, 49, 217-223.
- Boiger, M., Mesquita, B., Uchida, Y., & Barrett, L. F., "Condoned or condemned - the situational affordance of anger and shame in the US and Japan," *Personality and Social Psychology Bulletin*, in press.
- Park, J., Haslam, N., Kashima, Y., Uchida, Y., & Shimiz, H., "Comparing the self to friends and peers: Self-humanizing, but not self-enhancement, is robust interpersonal comparisons in Australia, Japan, and Korea," *Journal of Cross-Cultural Psychology*, in press.
- 内田由紀子「日本文化における幸福と持続可能な社会への提言」『季刊環境研究』2013, 169, 44-52.
- 内田由紀子「文化心理学からみた日本文化と心」『経済セミナー』2013年670号, 日本評論社.
- Uchida, Y., Takahashi, Y., & Kawahara, K., "Changes in hedonic and eudaimonic well-being after a severe nationwide disaster: The case of the Great East Japan Earthquake," *Journal of Happiness Studies*, in press.
- 荻原祐二, 内田由紀子, 楠見孝「対人関係におけるコントロール方略が感情状態に及ぼす影響」『対人社会心理学研究』2013, 13, 9-14.
- 著書**
- Norasakkunkit, V., & Uchida, Y., "Marginalized Japanese youth in post-industrial Japan: Motivational patterns, self-perceptions, and the structural foundations of shifting values." In Trommsdorff, G., & Chen, X. (Eds). *Values, Religion, and Culture in Adolescent Development*. 2012, pp. 211-234. Cambridge: Cambridge University Press.
- 内田由紀子, 竹村幸祐『農をつなぐ仕事——普及指導員とコミュニティへの社会心理学的アプローチ』創森社, 2012年.
- 河合俊雄, 内田由紀子編『「ひきこもり」考』創元社, 2013年.
- 受賞**
- 日本計画行政学会論説賞, 2012年9月(論文: 内田由紀子「日本文化における幸福観——東日本大震災後の復興を支える心理と社会システム」『計画行政』2011, 34, 11-26.)
- 学会発表**
- Uchida, Y. "Did you notice how I helped you? Cultural differences in support monitoring." In symposium: Cultural dimensions of responsiveness to need and social support (Chair: Joan Miller). *International Society for the Study of Behavioral Development 2012 Biennial Meeting*, Edmonton, Canada. 2012, 7.11.
- 内田由紀子「子育てと研究生活」日本心理学会第76大会ワークショップ「研究者のワーク・ライフ・バランス」(専修大学, 川崎市) 2012.9.13.
- 内田由紀子「社会心理学・文化心理学における質問紙調査の実際」日本心理学会第76大会ワークショップ「より良い質問紙調査を行うために——作成から実施まで」(専修大学, 川崎市) 2012.9.13.
- 内田由紀子「幸福の対人的基盤」日本心理学会第76大会ワークショップ(発表兼企画)『幸福感研究の多面性: 社会構造, 対人的側面, 神経基盤』(同上).
- 内田由紀子, 竹西亜古, 金川智恵, 原田章, 大川清文, 藪ノ弘美「東日本大震災における報道——報道内容と報道関係者への調査からの分析」日本グループ・ダイナミクス学会第59回大会(京都大学, 京都市) 2012.9.22.
- 内田由紀子, 吉成祐子, 京野千穂「援助行動における言語表現と関係性の認知: 日本文化における検証」日本社会心理学会第53回大会(つくば市) 2012.11.17.
- 福島慎太郎, 内田由紀子, 西前出「一般的信頼とコミュニティ信頼の固有性が保持される空間レベルの検証——京都府北部の3自治体を構成する全445農業集落に対する全戸調査を通して」日本社会心理学会第53回大会(同上).
- 岡田安功, 荻原祐二, Moring, B., 内田由紀子「集団内成員の関係性満足に影響力保持と影響力格差が与える効果」日本社会心理学会第53回大会(つくば市) 2012.11.18.
- 荻原祐二, 内田由紀子「成人期における主観的幸福観: 対人関係からの検討」日本社会心理学会第53回大会(同上).
- 矢野裕理, 内田由紀子, 上田祥行, 増田貴彦「ニート・ひきこもりリスクと表情認知の関連」日本社会心理学会第53回大会(同上).
- Norasakkunkit, V., & Uchida Y., "Marginalization due to Globalization May Dissociate Individuals from Local Identity." *Cultural Psychology Preconference, The 14th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology*, New Orleans, USA. 2013.1.16.
- Ogihara, Y., Uchida, Y., Morling, B., & Kusumi, T. "Influence and adjustment in the friendship." *Cultural Psychology Preconference, The 14th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology*, New Orleans, USA. 2013.1.16.
- Akutsu, S., Uchida, Y., Katsumura, F., Ogihara, Y., & Kitayama, S. "Negative impact of seeking independence in a global Japanese company." *Cultural Psychology Preconference, The 14th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology*, New Orleans, USA. 2013.1.16.
- Fukushima, S., Saizen, I., Uchida, Y., & Kondo, K. "A study on collective properties of happiness through the questionnaire survey in Japan." *The 14th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology*, New Orleans, USA. 2013.1.19.
- 講演**
- 内田由紀子「Happiness in Japan before and after the Great East Japan Earthquake」ドイツ日本研究所(東京都) 2012.4.5.
- 内田由紀子「幸福研究の文化心理学的視座: 国際比較からわかること」持続可能性と幸福研究オープニング・ワークショップ(京都大学, 京都市) 2012.5.28.
- 内田由紀子「日本文化と幸福観について——文化心理学からの考察」社団法人国際経済労働研究所, 日本の強み・弱み - その仕分け - 研究会(京都大学, 京都市) 2012.6.1.
- 内田由紀子「幸せのモノサシ——日本の『幸福観』とは」川西市生涯学習センター, 平成24年度オープン講座(全3回) 2012.6.8, 6.15, 6.29.
- 内田由紀子「文化心理学から見た日本文化と心」大阪大学社会経済研究所, 第9回行動経済学研究センターシンポジウム『文化と経済』(大

阪大学中之島センター, 大阪市) 2012.8.22.

内田由紀子「普及指導員の行動に関する調査研究——地域ネットワークを支える普及活動」平成24年度愛媛県普及指導員研修大会(愛媛県松山市) 2012.10.22.

内田由紀子「日本における文化的幸福観と幸福度指標」行動経済学会第6回大会一般向け教育セッション『幸福について——幸福度の社会での活用に向けて』(青山学院大学, 東京都) 2012.12.9.

内田由紀子(指定討論)「東日本大震災と幸福度」行動経済学会第6回大会(同上).

内田由紀子「日本社会における企業文化とメンタルヘルス——グローバル化時代の価値観の揺らぎ検証」平成24年度第8回企業向け人権啓発講座(京都市) 2012.11.27.

内田由紀子「社会心理学からみた普及活動」平成24年度水産業普及指導員研修会, 2012.12.18.

内田由紀子「文化と幸福度: 幸福度への文化心理学的アプローチ」持続可能な発展と主観的福祉にかんするワークショップ, 2012.11.2.

内田由紀子「幸福度とその指標作成における心理学的視点」平成24年環境経済の政策研究第3回研究会, 2012.11.21.

Uchida, Y., "Collective well-being and a proposal for a sustainable society: A cultural psychological perspective," International Expert Working Group, Bhutan, 2013.1.27.

内田由紀子「心理学から見た、まちづくりにおける幸福度の活用」平成24年度川西市トップセミナー及び特別講演会, 2013.2.20.

内田由紀子「グローバル化する日本における幸福」特定領域研究シンポジウム「社会行動の文化・制度的基盤」京都大学, 2013.3.3.

内田由紀子「社会心理学の視点で捉えた信頼関係構築」しがの地産地消推進事業にかかる推進会議(長浜市) 2013.3.13.

内田由紀子「成熟国家における新たな幸福への挑戦」京都幸福会議特別セッション, 2013.3.20.

内田由紀子, 竹村幸祐「普及員のワザについての社会心理学的検証——社会心理学調査から見てきたもの」普及研究会(農林水産研修所つくば館) 2013.3.28.

ワークショップ企画

「持続可能性と幸福研究」ネットワーク(2012年5月より).

新聞掲載等

Uchida, Y. Don't worry be happy. Monocle, vol.06, issue 52. 2012年4月号.

Uchida, Y. Did the 2011 Disaster Make Japanese Happier? ウォールストリートジャーナルブログ版, 2012年4月9日.

内田由紀子「農幸民族〜識者から」日本農業新聞2012年5月17日.

内田由紀子「原発事故30%が事実描ききれなかった」NHK京都放送局, 2012年5月24日放送.

内田由紀子「新聞報道記者アンケート 京大など調査」京都新聞2012年5月25日.

内田由紀子「35%の記者が原発事故報道で事実を描ききれず」『サイエンスポータル』2012年5月25日.

内田由紀子「五輪人間ドラマも熱い」読売新聞(京都山城版) 2012年6月18日.

内田由紀子「幸福度とは」『サイエンスポータル』(全5回), 第1回「大震災が若者に与えた影響」(2012年7月2日掲載), 第2回「関係志向に帰帰も」(2012年7月4日掲載), 第3回「相反する要求に悩む若者たち」(2012年7月9日掲載), 第4回「団塊ジュニアの苦難」(2012年7月17日掲載), 第5回「関係志向を支えるシステムの再構築を」(2012年7月25日掲載).

内田由紀子「『幸せ』を感じる町に(大塩民生川西市長・新川達郎同志社大学教授との鼎談)」『広報かわにし』平成24年9月号.

内田由紀子「幸せの数値化, 解はどこに」日本経済新聞「創論」2012

年9月23日.

内田由紀子「日本人の幸福観と幸福度指標」『心理学ワールド』2013年1月号, 5-8.

内田由紀子「リアル30's」毎日新聞社2012年1月17日.

内田由紀子, 竹村幸祐「農をつなぐ仕事——普及指導員とコミュニティへの社会心理学的アプローチ」『サイエンスポータル』「科学のおすすめ本」(書評), 2012年12月25日.

内田由紀子「メンタルヘルス・幸福度とワーク・ライフ・バランス」カエルジャパン通信第41号, 2013年2月28日配信.

社会活動

内閣府, 幸福度に関する研究会委員会(内閣府, 東京都).

ブータン International Expert Working Group コミティー.

日本ドイツ研究所, 顧問.

阿部修士

論文

Abe, N., "Neuroimaging studies of false memory: a selective review," Psychologia, 2012, 55, 131-145.

Ito, A., Abe, N., Fujii, T., Hayashi, A., Ueno, A., Mugikura, S., Takahashi, S., Mori, E., "The contribution of the dorsolateral prefrontal cortex to the preparation for deception and truth-telling," Brain Research, 2012, 1464, 43-52.

Hashimoto, R., Abe, N., Ueno, A., Fujii, T., Takahashi, S., Mori, E., "Changing the criteria for old/new recognition judgments can modulate activity in the anterior hippocampus," Hippocampus, 2012, 22, 141-148.

阿部修士, 森悦朗「パーキンソン病における認知機能障害」『BRAIN and NERVE』2012, 64, 321-331.

著書

阿部修士, 藤井俊勝「嘘をつく脳」, 菅原直行編『社会脳科学の展望——脳から社会をみる』新曜社, 2012年, 35-61頁.

学会発表・ワークショップ等

阿部修士, ジョシュア・グリーン「腹側線条体における報酬感受性は不正直な行動を予測する」第2回社会神経科学研究会(自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター, 岡崎市) 2013.1.31.

伊藤文人, 藤井俊勝, 阿部修士, 川崎伊織, 林亜希子, 上野彩, 吉田一生, 境信哉, 麦倉俊司, 高橋昭喜, 森悦朗「他者の顔に対する価値表象に関わる神経基盤の性差」第2回社会神経科学研究会(同上). 阿部修士「嘘を理解する脳のメカニズム」第76回日本心理学会(専修大学, 川崎市) 2012.9.12.

阿部修士, ジョシュア・グリーン「腹側線条体における報酬感受性はヒトの不正直な行動を予測する」第14回日本ヒト脳機能マッピング学会(京王プラザホテル, 札幌市) 2012.7.5.

伊藤文人, 阿部修士, 藤井俊勝, 林亜希子, 上野彩, 麦倉俊司, 高橋昭喜, 森悦朗「正直な反応と嘘の反応の準備における背外側頭前野の役割」第14回日本ヒト脳機能マッピング学会(同上).

畑中千紘

論文

高嶋雄介, 畑中千紘, 井上嘉孝, 古川裕之「トイレ空間にみる現代の意識」『箱庭療法学研究』2012, 25(2), 13-24.

長岡千賀, 小森政嗣, 吉川左紀子, 桑原知子, 大山泰宏, 渡部幹, 畑中千紘「心理臨床初回面接の進行: 非言語行動と発話の臨床的意味の分析を通じた予備的研究」『社会言語科学会誌』2012, 14-1.

畑中千紘「最新のトイレにみる現代のこころ——トイレの自立と影の喪失」『こころの未来』2012, vol.9, 47.

畑中千紘「現代の『フツー』の大学生」『立命館大学学生サポートルーム報告書』2012, 第4号, 7-10.

Hatanaka, C. "From Dual Personalities to Reflected Adult. Consciousness in the Psychotherapy of Dissociative Identity Disorder : The Dialectic Movement between Fake and Real."『箱庭療法学研究』25 (3), 75-90.

学会発表

畑中千紘「発達障害の世界における境界と定点——雷恐怖を呈する女子との箱庭療法から」日本箱庭療法学会第26回大会(米子コンベンションセンター, 米子市) 2012.10.28.

田中崇恵, 小木曾由佳, 加藤のぞみ, 井芹聖文, 土井奈緒美, 河合俊雄, 田中康裕, 黒川嘉子, 高嶋雄介, 畑中千紘, 長谷川千紘「発達障害へのプレイセラピーによるアプローチ(1) 新版K式発達検査を用いた検討」日本箱庭療法学会第26回大会(同上).

河合俊雄, 黒川嘉子, 田中崇恵, 小木曾由佳, 加藤のぞみ, 井芹聖文, 土井奈緒美, 田中康裕, 高嶋雄介, 畑中千紘, 長谷川千紘「発達障害へのプレイセラピーによるアプローチ(2) 治療プロセスからの検討」日本箱庭療法学会第26回大会(同上).

畑中千紘「On the Dialectics of Seeing Through Symptoms in the Psychotherapy of Dissociative Identity disorder: Beyond the trauma theory and the integration model.» The International Society for Psychology as the Discipline of Interiority (Berlin, Germany) 2012.7.23-25.

畑中千紘「Beyond the integration model in the psychotherapy of Dissociative Identity Disorder: Abandoned childhood」3rd International Joint Conference of the IAJS and the IAAP (Braga, Portugal) 2012.7.18-21 (ポスター発表).

講演

畑中千紘「発達障害のコミュニケーション」(京都家庭裁判所, 京都市) 2012.10.30.

長岡千賀

論文

Komori, M., Kamide H., Kawamura, S., & Nagaoka, C., "Asymmetry in Facial Expressions as a Function of Social Skills." IEICE Transactions on Information and Systems. 2013, E96-D (3).

Komori, M., Nagaoka, C., "The Relationship between Seating Locations and Instructor-Student Entrainment in a Classroom." Kansei Engineering International Journal. 2012, 11 (4) :179-182.

長岡千賀, 小山内秀和, 前田駿太「発達障害児への作業療法におけるセラピストの専門的技法」『電子情報通信学会技術研究報告』, 2012, 112 (45), 143-148.

Nagaoka, C., Kuwabara, T., Yoshikawa, S., Watabe, M., Komori, M., Oyama, Y., & Hatanaka, C., "Implication of silence in a Japanese psychotherapy context : a preliminary study using quantitative analysis of silence and utterance of a therapist and a client." Asia Pacific Journal of Counselling and Psychotherapy. in press.

長岡千賀, 佐々木玲仁, 小森政嗣, 金文子, 石丸綾子「行動指標を用いた心理臨床の関係性に関する定量的検討——描画法施行場面を題材として」『対人社会心理学研究』, 2013, 13, 31-40.

学会発表, ワークショップ等

長岡千賀「より良い保護者面談をするために: 対話の時間構造と内容の分析に基づく考察」自主シンポジウム発達障害児の学習支援と心の発達~保護者支援と合わせて~(企画: 京都大学霊長類研究所・小川詩乃) 日本LD学会(仙台市) 2012.10.8.

長岡千賀「子どもが療育に通うことによる保護者の認知の変化: 縦断的調査による検討」, 日本心理学会第76回大会(専修大学, 川崎市) 2012.9.11.

小山内秀和, 長岡千賀, 鈴木淳子, 田辺肇, 内田由紀子, 高橋雄介, 2012 ワークショップ「より良い質問紙調査を行うために——作成から実施まで」(企画: 小山内秀和, 長岡千賀), 日本心理学会第76回大会(同上). Nagaoka, C., Yoshikawa, S., Kuwabara, T., Oyama, Y., Hatanaka, C., Watabe, M., Komori, M., "A Comparison of Experienced, Novice Counselor and Non-counselor in Recall of Client-Presented Information in Therapeutic Interview." Proc. the 34th Annual Conference of the Cognitive Science Society (CogSci 2012), Sapporo, 2794, 2012.8.3.

Komori, M., Kamide, H., Kawamura, S., Nagaoka, C., "Effect of Social Skills on the Asymmetry in Facial Expressions." Proc. the 34th Annual Conference of the Cognitive Science Society (CogSci 2012), Sapporo, 1822-1827, 2012.8.4.

Komori, M., Matsumura, N., Miura, A., Nagaoka, C., "Relationships between periodic behaviors in micro-blogging and the users' baseline mood." Proc. 13th ACIS International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking and Parallel/Distributed Computing (SNPD 2012), Kyoto, 405-410, 2012.8.9.

講演

長岡千賀「自閉症児への作業療法におけるセラピストの専門的技法」企画セッションコミュニケーションの進化と未来: 霊長類からジェミノイドまで(企画: ヒューマンコミュニケーション基礎第一種研究会), HCGシンポジウム(熊本市), 2012.12.10.

上田祥行

論文

Ueda, Y., & Komiya, A., "Cultural Adaptation of Visual Attention: Calibration of the Oculomotor Control System in Accordance with Cultural Scenes." PLoS ONE, 2012, 7, e50282.

Ueda, Y., & Saiki, J., "Characteristics of Eye Movement in 3-D Object Learning : Comparison between Within- and Cross-modal Object Recognition," Perception, 41, 1289-1298.

学会発表, ワークショップ等

Ueda, Y., & Yoshikawa, S., "Task-irrelevant Happy Faces Facilitate Visual Search Performance," Vision Sciences Society 12th Annual Meeting, Naples, USA. 2012.5.11.

Higuchi, Y., Ogawa, H., Ueda, Y., & Saiki, J., "Object identities facilitate response to a target in spatio-temporal contextual cuing," Vision Sciences Society 12th Annual Meeting, Naples, USA. 2012.5.12.

Yoshikawa, S., & Ueda, Y., "Smile Wins : Perceived Dominance of Facial Expression in Face-to-Face Confrontation Scenes," 24th Annual Convention of Association for Psychological Science, Chicago, USA. 2012.5.25.

Nunoi, M., Ishida, A., Ueda, Y., & Yoshikawa, S., "Face-To-Face Situation Enhances Positive Facial Expression Rather Than Videophone Situation," 24th Annual Convention of Association for Psychological Science, Chicago, USA. 2012.5.26.

上田祥行, 小宮あすか「文化の典型的な風景への順応による眼球運動の変化」日本心理学会第76回大会(専修大学, 川崎市) 2012.9.13. 樋口洋子, 小川洋和, 上田祥行, 齋木潤「系列の潜在学習における位置とアイデンティティの役割」日本心理学会第76回大会(同上).

Ueda, Y., & Yoshikawa, S., "Task-irrelevant Happy Faces Facilitate Visual Search Performance," 43rd NIPS International Symposium "Face Perception and Recognition." Okazaki, Japan. 2012.11.1.

Yoshikawa, S., & Ueda, Y., "Perceived Dominance of Facial Expression in Face-to-Face Scenes," 43rd NIPS International Symposium "Face Perception and Recognition", Okazaki, Japan. 2012.11.1.

矢野裕理, 内田由紀子, 上田祥行, 増田貴彦「ニート・ひきこもりリスクと

表情認知の関連」日本社会心理学会第53回大会（茨城県）2012.11.18.
上田祥行「視覚と触覚を通じて形成される三次元物体の脳内表象」第15回CAPSインタラクショナル研究会（関西学院大学，西宮市）2012.12.10.

上田祥行，小宮あすか「文化特有の風景は文化特有の注意プロセスを産出する」日本心理学会「注意と認知」研究会第11回合宿研究会（愛知県）2013.3.10-12.

樋口洋子，上田祥行，小川洋和，齋木潤「系列の潜在学習における課題依存性」日本心理学会「注意と認知」研究会第11回合宿研究会（同上）.

山本哲也

学会発表，ワークショップ等

山本哲也，山本洋紀，三浦健一郎，澤本伸克，福山秀直，河野憲二「ヒト視覚皮質における輝度・反対色チャンネルの最適空間周波数の視野位置依存性」日本視覚学会2013年冬季大会（工学院大学新宿キャンパス，東京都）2013.1.25.

長谷川千紘

学会発表

Chihiro HASEGAWA, “Features of narrative in patients with thyroid disease.” Poster. IVth International Academic Conference of Analytical Psychology & Jungian Studies. Braga, Portuguese. 2012.7.20.

長谷川千紘「甲状腺疾患患者の『語り』と主体」日本心理臨床学会第31回秋期大会（愛知学院大学，日進市）2012.09.15.

田中崇恵，小木曾由佳，加藤のぞみ，井芹聖文，土井奈緒美，河合俊雄，田中康裕，黒川嘉子，高嶋雄介，畑中千紘，長谷川千紘「発達障害へのプレイセラピーによるアプローチ（1）——新版K式発達検査2001を用いた検討」日本箱庭療法学会第26回大会（米子コンベンションセンター，米子市）2012.10.28.

河合俊雄，黒川嘉子，田中崇恵，小木曾由佳，加藤のぞみ，井芹聖文，土井奈緒美，田中康裕，高嶋雄介，畑中千紘，長谷川千紘「発達障害へのプレイセラピーによるアプローチ（2）——治療プロセスからの検討」（同上）.

奥井 遼

論文

Okui, H. “Body and the Understanding of Others: The Phenomenology of Language in the Work of Merleau-Ponty”『臨床教育人間学』2012, 11, 75-81.

奥井遼「身ぶりと言葉による『学び』——人形遣いのわざ習得場面における行為空間の記述」『ホリスティック教育研究』16, 2012, 69-82.

奥井遼「苔の行，あるいは身心変容技法——羽黒修験・秋の峰に関する身体論的考察」『身心変容技法研究』2, 京都大学こころの未来研究センター，2013.

著書

Okui, H. “Who Is Manipulating the Puppet?: A Phenomenological Analysis of Puppet Performances in Awaji Island, Japan.” In Diaz Benavides, Daniel (ed.) Cuerpos y Folklore (s) : Herencias, construcciones y performances, (Lima, Peru: R&F Publicaciones). 2012, 75-83.

学会発表

Okui, H. “Phenomenological description of embodied experience: A case of puppet performance in Japan.” The 30th International Congress of Psychology, Cape Town, South Africa, 2012.7.26.

奥井遼「身体化された行為者（embodied agent）としての学び手

——メルロ＝ポンティの『身体』概念を手がかりとした学びの構造」第55回教育哲学会大会（早稲田大学，東京都）2012.9.17.

奥井遼「羽黒修験の身心変容技法——荒澤寺の秋の峰入りを中心に」第6回身心変容技法研究会（京都大学，京都市）2012.10.4.

奥井遼「身ぶりと言葉による『学び』——人形遣いのわざ習得場面における行為空間の記述」第四回教育の現象学研究会（学士会館，東京都）2013.1.6.

講演

「伝統と心——久高島の神人・淡路島の人形」淡路三原ロータリークラブ50周年記念講演会（兵庫県南あわじ市）2013.2.23.

千石真理

論文

千石真理「ガンを善知識として」『大法輪』，大法輪閣，2012年12月号，188-194.

著書

千石真理「内観療法」井上ウィマラ，葛西賢太，加藤博巳編『仏教心理学キーワード事典』，春秋社，2012年，246-247.

Mari Sengoku, “One Dies as One Lives: The Importance of Developing Pastoral Care Services and Religious Education,” Buddhist Care for the Dying and Bereaved. Jonathan Watts & Yoshiharu Tomatsu, Eds. Somerville, MA : Wisdom Press, 2012. 12, 95-110.

講演

千石真理「内観心理療法とスピリチュアルケア」ビハラー山陰発足総会（本願寺山陰教区教務所，松江市）2012.6.22.

千石真理「Naikan Psychotherapy in relation to Buddhism.」築地本願寺英語礼拝（築地本願寺，東京築地）2012.6.30.

千石真理「内観心理療法と仏教教育」第51回広島可部地区仏教夫人大会（安佐北区民文化センター，広島市）2012.9.2.

千石真理「ビハラー活動について」第12回中央仏教学院通信制山陰教区同窓会（本願寺山陰教区教務所，松江市）2012.10.15.

千石真理「輝いて生きよう」鳥取県連合婦人会人権啓発講演会（船岡公民館，鳥取市）2012.11.24.

千石真理「ビハラー活動」浄土真宗西本願寺派外国人教師研修会（本願寺西山別院研修所，京都市）2012.12.12.

国際フォーラム，シンポジウム

Mari Sengoku “Introduction to Naikan——Your Heart Treasure.” 2012 International Network of Engaged Buddhists (INEB) International Forum (縁起の智慧と幸せの教え——世界のエンゲージドブuddhistと描くポスト3.11) (孝道山仏殿，横浜市) 212.11.9.

千石真理他「自殺とアルコール問題——持ちたいね，ふんばる力」市民公開セミナー，シンポジウム「生と死を考える」（名古屋国際会議場，名古屋市）2013.2.3.

ワークショップ，研修会

千石真理他「第13回 わく・湧く・ワークショップ」（稲盛記念館小会議室）2012.9.19.

千石真理他「第14回 わく・湧く・ワークショップ」（稲盛記念館小会議室）2012.11.7.

千石真理他「メンタルヘルス研修会——過大なストレスへの対応」（京都府立東稜高校）2012.1.9.

新聞掲載

千石真理「内観法生かし人に寄り添う」（インタビュー）中国新聞2012年5月12日.